

科目名		授業形態	担当教員名	
血液浄化装置学演習		演習	阪本 壮志・林田 健・岸本 佳久	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
代謝に関する医療機器の動作原理、操作方法、保守管理方法などを演習を通して講義する。				
授業の到達目標				
演習を通して、臨床に即した知識や技術の修得を目指す。				
授業計画				
回	内容			
1	実習(1)保守管理(血液ポンプ・圧力計調整)			
2	実習(2)保守管理(除水テスト・バランステスト)			
3	実習(3) 透析液作製			
4	実習(4) 限外濾過率測定			
5				
6				
7				
8	実習(5)透析用穿刺針による穿刺			
9				
10				
11				
12	実習(6) 実流量測定試験			
13				
14				
15	実習結果発表会			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	70%	提出・論理・個性・体裁		
小テスト				
平常点	20%	授業態度、実習への取り組み方、姿勢により評価する。		
その他	10%	発表		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
血液浄化療法ハンドブック2024		透析療法合同専門委員会	協同医書出版社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
血液透析技術基礎セミナーテキスト		日本血液浄化技術学会		
生体機能代行装置学 血液浄化療法装置		施設協議会	医歯薬出版	
臨床工学技士のための透析医療		篠田俊雄他	秀潤社	
自由記載				
備考				